

ニッセイ・ジャパンAI関連株式ファンド

愛称：ジャパンAI革命

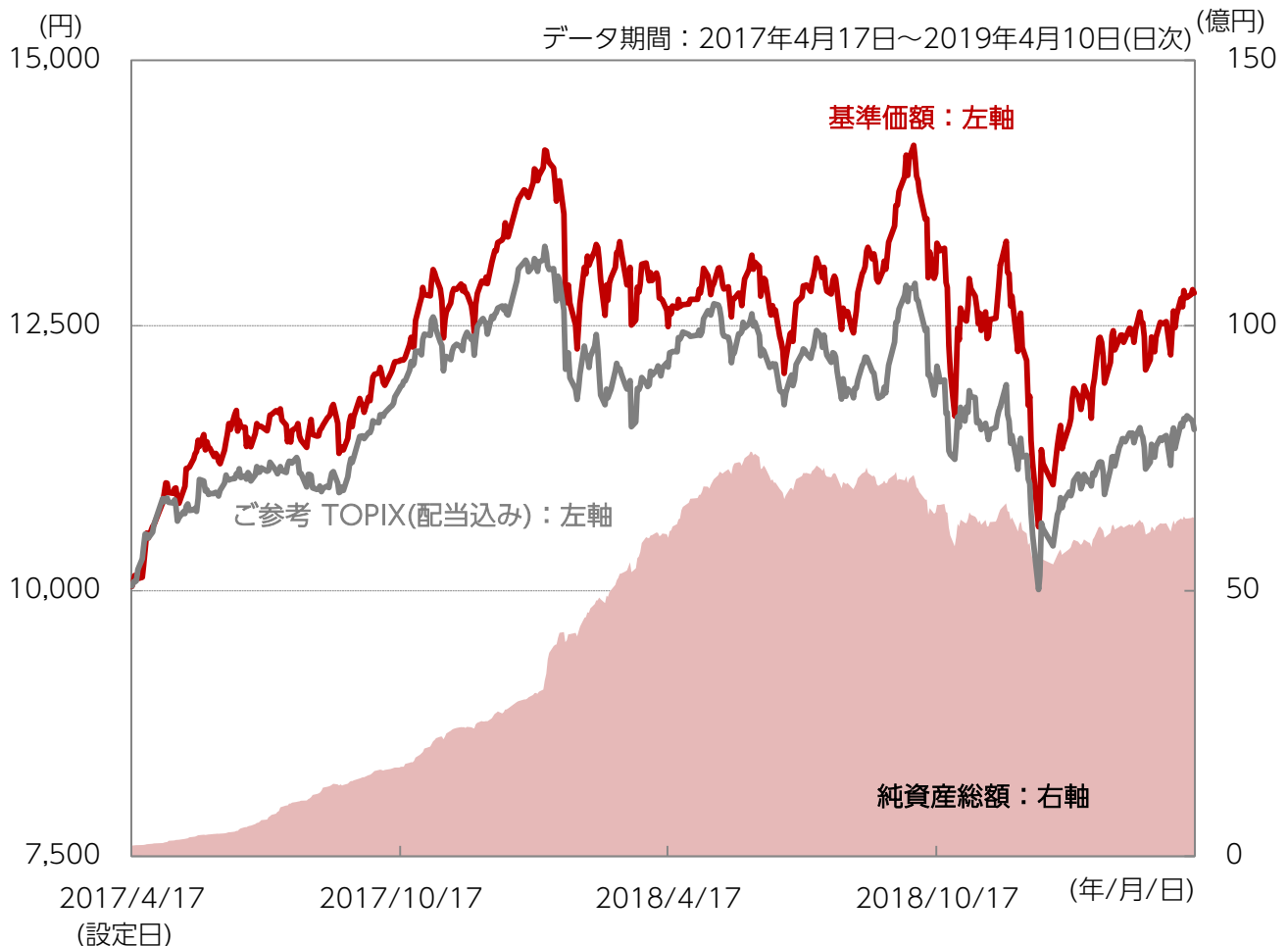
足元の運用状況と投資環境について

- 当ファンドは2017年4月に設定・運用を開始し、2019年4月10日現在で日本株式市場の動向を示す代表的な株価指数TOPIXを上回るパフォーマンスを示しています。
- 現状の日本株式のPER(株価収益率)等に割高感はなく、中長期的に見ても株価上昇が期待されます。当ファンドでは、好調な日本株式のなかでも業績拡大や株価の上昇が見込まれるAI(人工知能)関連企業を選定し、投資を行います。

基準価額等の推移について (2019年4月10日現在)

当ファンドは日本の株式の中から、主にAI関連企業の株式に投資を行います。2017年4月の設定・運用開始から約2年が経過しましたが、日本株式市場の動向を示す代表的な株価指数TOPIXを上回るパフォーマンスを示しており、2019年4月10日現在の設定来騰落率は28.1%となっています。

<設定来の基準価額等の推移>



上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。
TOPIX(配当込み)は設定日の前営業日の終値を10,000として指数化しています。

企業業績は今後も拡大が見込まれており、割高感もない日本株

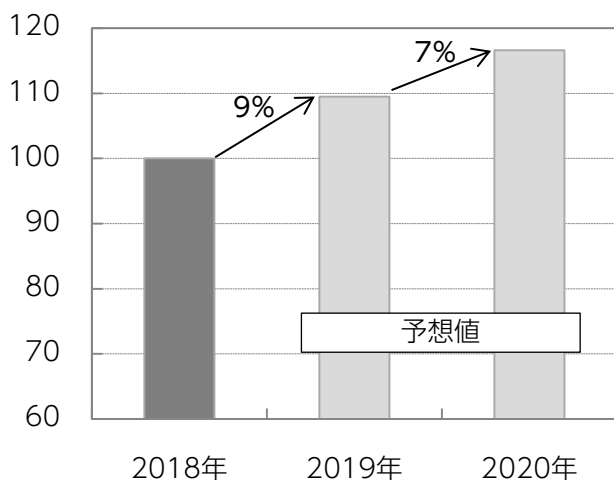
2018年以降、米中の貿易摩擦への懸念やブレグジット(イギリスの欧州連合(EU)離脱)問題への警戒感などを背景に、世界的に株式市場は値動きが荒くなる局面もありました。

ただし、日本株式のEPS(1株当たり純利益)を確認すると、企業業績は今後も拡大が見込まれています。また、代表的なバリュエーション*指標のひとつであるPER(株価収益率)を確認してみても、日本株式は過去10年間の平均値を下回っており、割高感は見られず、海外株式と比較しても相対的に割安な状況です。

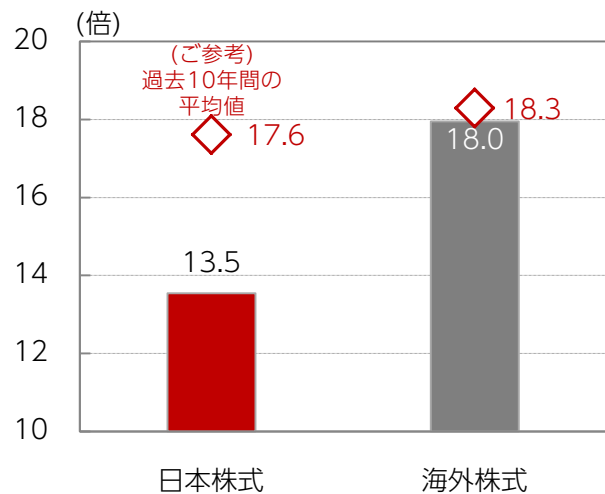
さらに、イールドスプレッドをみても、-2.5%に近い水準で推移しており、利回り面からも株式に投資妙味があります。

*企業の利益・資産など、本来の企業価値と比較して割高・割安を判断する指標

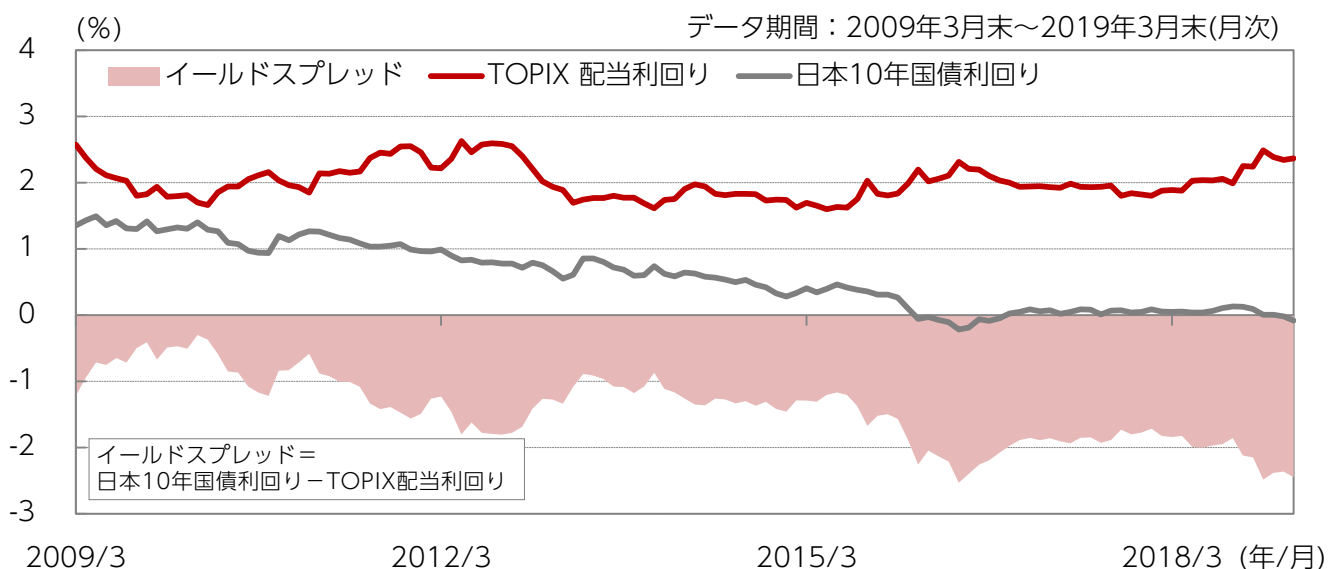
<日本株式 企業業績 EPSの推移>



<PERの比較(2019年3月末現在)>



<イールドスプレッドの推移>



出所)ブルームバークのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
 日本株式：TOPIX、海外株式：MSCIコクサイインデックス
 EPSは2018年を100として指数化。2019年以降は予想値(2019年4月現在のブルームバーク集計値)
 PERの過去10年間の平均値は2009年3月末～2019年3月末の月次データの平均。

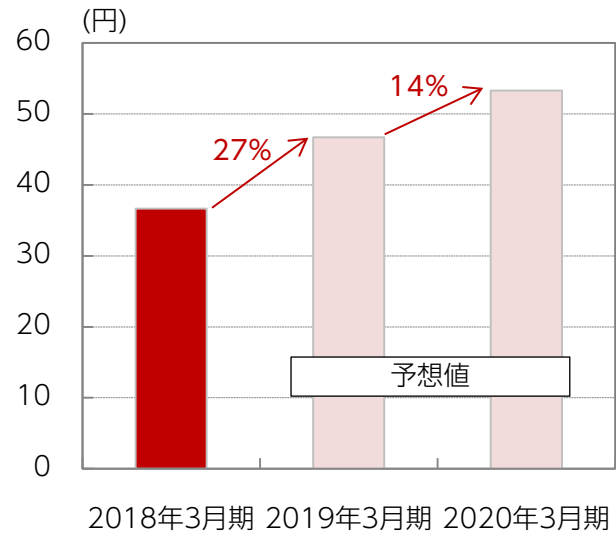
組入銘柄のご紹介 ～企業業績 EPS(1株当り純利益)の推移～

<システナ>

業種：情報・通信業

AI関連トピックス

広範な業務システム開発・組込ソフトウェア開発を手掛ける独立系SI(システムインテグレーター)。自動運転や車載機システム、各種社会インフラシステムの開発、ロボット・AI・IoT(モノのインターネット)を使った組込開発に注力。

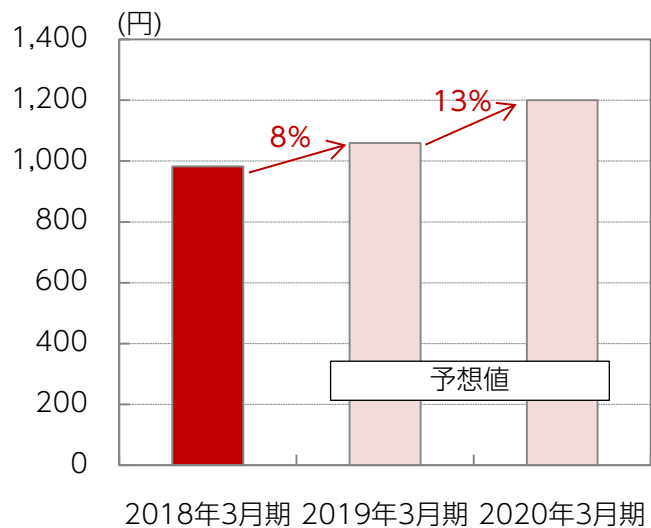


<ソフトバンクグループ>

業種：情報・通信業

AI関連トピックス

AIが人間の知能を超える「シンギュラリティ」が今世紀中にも到来し、巨大なビジネスチャンスが来ると想定し「ソフトバンクビジョンファンド」を通じてAI企業をはじめとした優れたテクノロジー会社に投資。

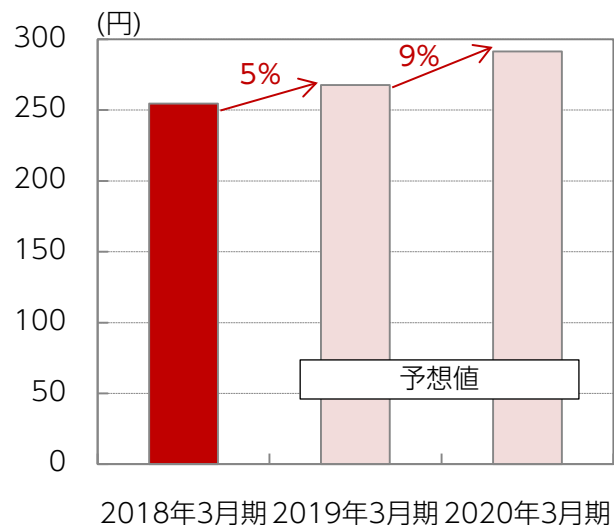


<バンダイナムコホールディングス>

業種：その他製品

AI関連トピックス

学習型会話エンジンを搭載したAIロボット「キューシロー」の独自開発を進めると共に、AI将棋などのボードゲーム向けのAIゲーム開発のHEROZと業務提携し、新たなエンターテインメントの創出をめざす。



出所)ブルームバークのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
EPS(1株当り純利益)の予想値は2019年4月現在のブルームバーク集計値。

上記は2019年3月末現在の組入銘柄の一部を示したものです。特定の銘柄を推奨するものではなく、また、当該銘柄を組入れることを保証するものではありません。

ファンドの特色

- ①日本の株式の中から、主にAI(人工知能)関連企業の株式に投資を行います。
- ②銘柄選定は、ニッセイアセットマネジメントが徹底した調査・分析に基づき行います。

投資リスク

※ご購入に際しては、投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分にお読みください。

基準価額の変動要因

- ファンド(マザーファンドを含みます)は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本を割込むことがあります。
- ファンドは、預貯金とは異なり、投資元本および利回りの保証はありません。運用成果(損益)はすべて投資者の皆様のものとなりますので、ファンドのリスクを十分にご認識ください。**

主な変動要因

株式投資リスク	株式は国内および国際的な景気、経済、社会情勢の変化等の影響を受け、また業績悪化(倒産に至る場合も含む)等により、価格が下落することがあります。
流動性リスク	市場規模が小さいまたは取引量が少ない場合、市場実勢から予期される時期または価格で取引が行えず、損失を被る可能性があります。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
購入時	購入時手数料 (1万口当り)	購入申込受付日の基準価額に 3.24%*(税抜3.0%) を上限として販売会社が独自に定める率をかけた額とします。 ※消費税率が10%になった場合は、 3.3% となります。
換金時	信託財産留保額	換金申込受付日の基準価額に 0.3% をかけた額とします。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
毎日	運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に 年率1.6632%*(税抜1.54%) をかけた額とし、ファンドからご負担いただきます。 ※消費税率が10%になった場合は、 年率1.694% となります。
	監査費用	ファンドの純資産総額に年率0.0108%*(税抜0.01%)をかけた額を上限とし、ファンドからご負担いただきます。 ※消費税率が10%になった場合は、年率0.011%となります。
随時	その他の費用・ 手数料	組入る有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用および借入金の利息等はファンドからご負担いただきます。これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を記載することはできません。 また、ファンドが「ニッセイ・ジャパンAI関連株式マザーファンド」を換金する際には、信託財産留保額*をファンドからご負担いただきます。 ※ニッセイ・ジャパンAI関連株式マザーファンドの基準価額に0.3%をかけた額。 なお、投資者が実質的に負担する信託財産留保額は、前記「投資者が直接的に負担する費用」に記載の信託財産留保額となります。

❗ 当該費用の合計額、その上限額および計算方法は、運用状況および受益者の保有期間等により異なるため、事前に記載することはできません。

❗ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの信託財産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 受益者のファンドの購入価額によっては、支払われる分配金の一部または全部が実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりりが小さかった場合も同様です。

ご留意いただきたい事項

- 投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動し、運用成果(損益)はすべて投資者の皆様のもとなります。投資元本および利回りが保証された商品ではありません。
- 当資料はニッセイアセットマネジメントが作成したものです。ご購入に際しては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等(目論見書補完書面を含む)の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は保険契約や金融機関の預金ではなく、保険契約者保護機構、預金保険の対象とはなりません。証券会社以外の金融機関で購入された投資信託は、投資者保護基金の支払対象にはなりません。
- 当資料のいかなる内容も将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。また、資金動向、市況動向等によっては方針通りの運用ができない場合があります。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。

取扱販売会社一覧

※ 販売会社は今後変更となる場合があります。また、販売会社によっては、新規のお申込みを停止している場合もあります。詳しくは、販売会社または委託会社の照会先までお問合せください。

取扱販売会社名	金融商品 取引業者	登録金融 機関	登録番号	日本証券業 協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業 協会
光世証券株式会社	○		近畿財務局長(金商)第14号	○			
高木証券株式会社	○		近畿財務局長(金商)第20号	○			
中銀証券株式会社	○		中国財務局長(金商)第6号	○			
内藤証券株式会社	○		近畿財務局長(金商)第24号	○			○
西日本シティ T T 証券株式会社	○		福岡財務支局長(金商)第75号	○			
百五証券株式会社	○		東海財務局長(金商)第134号	○			
三津井証券株式会社	○		北陸財務局長(金商)第14号	○			
株式会社但馬銀行		○	近畿財務局長(登金)第14号	○			
株式会社南都銀行		○	近畿財務局長(登金)第15号	○			

【当資料において使用している指数についての説明】

- ・東証株価指数(TOPIX)は、株式会社東京証券取引所(以下「東証」といいます)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウ および東証株価指数(TOPIX)の商標又は標章に関するすべての権利は東証が有しています。
- ・MSCI各種指数は、MSCI Inc.が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

委託会社【ファンドの運用の指図を行います】	ファンドに関するお問合せ先
ニッセイアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第369号 加入協会：一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会	ニッセイアセットマネジメント株式会社 コールセンター：0120-762-506 (午前9時～午後5時 土、日、祝祭日は除きます) ホームページ： https://www.nam.co.jp/
受託会社【ファンドの財産の保管および管理を行います】	
三菱UFJ信託銀行株式会社	